

地域・保護者の皆さまに支えていただき 開園60周年

# 幼稚園だより 10月号

2024年 9月27日  
港区立芝浦幼稚園  
園長 青山 伸子



9月になっても、夏のような暑さが続いていましたが、ようやく暑さが和らぎ秋の涼しさを感じるようになってきました。

3学年の子どもたちは、登園後にファミリー(異学年のグループ)で集まり、音楽に合わせて体操やダンスをした後に、自分の興味をもった遊びや友達と一緒にする遊びをしています。

さて、先日は昨年度から継続してご指導いただいている日本コーディネーショントレーニング協会の講師と一緒に子どもたちが学年や学級ごとに活動しました。

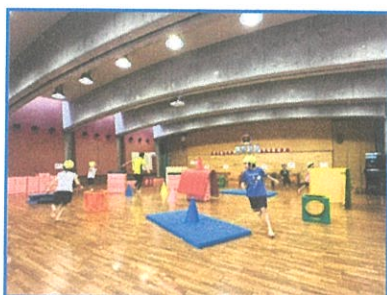
3歳児年少組は、講師の「向こうのお家までお引越し！」というかけ声で移動したり、腕組をして座った姿勢から素早く立ち上がったりする動きをしました。「先生からのプレゼントだよ。もらったらお返しプレゼントね」と教員の二人組でのボールの受け渡しもしました。

4歳児年中組は、ホールに数か所配置した遊具にぶつからないように、手足を床につきながらマットまで移動する動きなどをしました。講師の動きをよく見て、タッチされないように動くことはスリル感があり、友達から応援する声もあがっていました。ボールを使った動きでは、床でバウンドさせたボールや投げ上げたボールを自分の体で受け止める動きを繰り返しました。

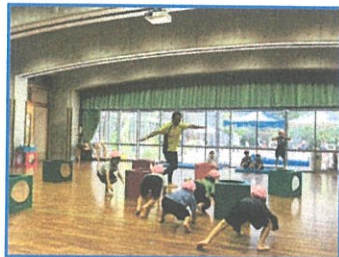
5歳児年長組は、ホールの中を友達にぶつからないように走り、講師の合図でいろいろなポーズ止まったり、遊具を森や川に見立てて、数人の友達と一緒に遊具に隠れながら鬼役の講師から逃げる鬼遊びをしたりしました。活動の終わりには「もう1回やろうよ！」「今度も、つかまらないようにがんばるぞ」などという声があがっていました。

活動後、講師の先生からは、“脳と心と体に刺激を受けること”“子どもたちが主体的に動くこと”“考えながら動くこと、動いて考えること”“イメージに応じて動きながら多様な動きをすること”など、活動を通して子どもたちが経験できるようにしているポイントについてお話がありました。これらのことは、日頃の園の遊びや活動においても重点をおいていることです。運動能力が急速に発達する幼児期に、子どもたちが「やってみたいな」と自分から興味をもって取り組み、「楽しかった！また、やりたいな」と満足感をもてるような物や場所の環境づくり、発達段階に応じた多様な動きの経験を引き出す指導・援助を引き続き行っていきたいと考えます。

10月の運動会は、日頃の遊びや活動での体を動かす経験をもとにした種目をご覧ください。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



各学年のコーディネーショントレーニングの様子



栽培しているワタの実がはじけ始めました。

〒108-0023 港区芝浦 4-8-18  
Tel.03(3452)0574  
教育活動の様子など、ぜひ園のホームページや公式Xをご覧ください。



芝浦幼稚園ホームページ



芝浦幼稚園 X